

担い手の経営のライフステージに応じた支援

 (9) 地域との連携による新規就農支援
JA伊豆の国（静岡県）

新規	継続
	○
	(平成 5 年 4 月)

1 動機 (経緯)	<p>地域農業の担い手の減少と高齢化により、地域農業の衰退が危惧される中、これからの地域農業を支える担い手の育成・支援が、もっとも重要な役割として位置づけられています。</p> <p>平成 5 年 4 月より、行政と一体になって、地域農業の担い手となる人材の育成と支援に取り組んでいます。</p>
2 概要	<p>JA伊豆の国管内における基幹作物であるイチゴとミニトマトの施設園芸農業の就農に向け、高い技術と指導力を持った熟練農業者の下、1 年間から 2 年間の研修により、農業経営者としての経営理念の確立と栽培の基礎知識の習得を目指します。</p> <p>就農計画の作成支援・制度資金借入金手続支援・栽培農地の斡旋・栽培施設・設備取得支援・巡回指導・各関係機関との連携・調整等の支援を行います。</p> <p>JA伊豆の国ニューファーマー地域連絡会を設立し、研修受入農家、行政、JAにて連携し、多方面から新規就農者を支援します。</p> <p>年 1 回の意見交換会開催により、就農後の経験談や日々の問題について話し合いを行い、一緒に問題点を探り、地域全体で情報共有を行っています。</p>
3 成果 (効果)	<p>平成 28 年度には研修生 10 名の研修生を受け入れ、6 名が就農の準備をしています。</p> <p>取組開始からの累計就農者は 65 名にのぼり、全国でも有数な育成の先進地となっています。</p> <p>新規就農者の増加とともに、作物の収穫作業などを担う人材の確保として、地域の新たな雇用にも貢献しています。</p> <p>新規就農者とその家族の増加は地域の人口増加にも寄与しています。</p>
4 今後の予定 (課題)	<p>今後も継続した取り組みを進め、地域農業の発展に貢献していくよう、事業間連携も深めながら、JAの役割と責任を認識して取り組んでいきます。</p>